



ながれ

学びの過程を大切に

副校長 深尾 剛

師走。早いもので平成28年も残すところあとひと月となりました。過日11月12日(土)の学習発表会には、保護者・地域の皆様をはじめ、大勢の方々に御来校いただきありがとうございました。また、多くの方々に、準備・片付け等、いろいろな場面で御協力いただき、学習発表会を無事に終えることができました。この場を借りて、お礼申し上げます。

学習発表会が終わり、発表会を見られた皆様から以下のようなお言葉やアンケートをいただきました。



【学習発表会 6年生の舞台】

「一人一人が自分の役割を一生懸命に頑張っているのが伝わってきて、心に残りました。」
「暗転の短い間に、次の場面の準備を静かにできるように協力し合っていたことが素晴らしく、チームワークの良さが伝わってきました。」
「お互いが高め合っている印象を強く受けました。友達を思い合える姿は、本当に美しいです。」
「一人一人の良さが一つになって、大きな感動が生まれていました。」
「これまで、たくさん練習をしてきたのだと感じる内容でした。口を大きく開けて歌ったり、セリフを言ったりする姿等、一人一人真剣に取り組んでいる姿に感動しました。」

このようなお言葉をいただき、思わずうれしくなりました。当日の発表を評価していただけたのもそうですが、それ以上に、表に見えていない部分に目を向けて、ここまでに至る子供たちの姿を、学びの姿を感じてくださっていたからです。

学習発表会で見られる子供たちの姿は、学習活動のほんの一部でしかありません。しかし、このほんの一部には、今までの積み重ねが凝縮されています。前にもお話しましたが、教育の価値は結果もそうですが、多くはその過程にあると思います。子供たちは、技能や知識などそれぞれの教科の中で力を伸ばしていますが、その力は一つの教科だけのその時の学びだけで培われていくものではありません。学んだことや体験が生かされて積み重なっていくものであると思います。また、うまくいかないことや失敗したことに正面から向き合いながら、どのようにしたら解決していけるかを考えていくことも大切です。

今後も、日頃の学習を大切に、努力を重ねて必要な力を身に付け、学んだり経験したりしたことを発揮できる子供たちを育てていきたいと思っております。

12月の行事予定

1	木	安全指導	16	金	学年発表6年(朝会時) キャリア教育6年(5校時)
2	金	B時程 1~3年 下校14:00 4~6年 下校14:50 学年発表4年(朝会時) 保護者会1~3年:14:10- 4~6年:15:00-	17	土	
3	土		18	日	
4	日		19	月	全校朝会 1~3年下校14:35 4~6年下校15:25
5	月	全校朝会 歯磨き週間始 避難訓練 委員会活動	20	火	
6	火	情報モラル教育出前授業5年 放課後学習教室	21	水	給食終
7	水	B時程4校時授業 一斉下校13:10	22	木	2学期終業式 B時程4校時授業 一斉下校12:25 給食なし
8	木		23	金	天皇誕生日 冬休み始(~1月9日)
9	金	歯磨き週間終 放課後ゼミ	24	土	
10	土		25	日	
11	日		26	月	
12	月	全校朝会 なかよし班活動 クラブ活動	27	火	
13	火		28	水	
14	水	B時程4校時授業 一斉下校14:00	29	木	
15	木		30	金	
			31	土	3学期始業式は平成29年1月10日(火)

学級の窓 5年

5年担任 小林 裕美

5年生は、11月に学習発表会で準備や片付けをしたり、就学時健診でお手伝いをしたり、高学年として仕事をすることができました。その活動を通して、自分は高学年としてどう行動すればよいのか考える場面がたくさんありました。考えたことをうまく実行に移すことができたときは、たくさんの方から認められたり、褒められました。うまくいかなかったこともありましたが、活動を通して味わった経験や達成感は、来年度最高学年になるという自覚につながりました。

総合的な学習の時間では、1学期から日本の伝統文化について学習しています。自分たちが課題として選んだ日本文化について、地域にいるその道の達人の方に話を聞かせていただいたり、体験させていただいたりしています。学ぶ姿が、とても真剣です。学習を進める中で、子供たちは、日本の伝統文化の素晴らしさや伝統を引き継いでいく大切さに気付いていました。また、伝統文化を継承している方が地域にたくさんいることを素晴らしいと感じていました。

5年生は、できることや分かることに対して楽しみながら取り組むことができます。その良さを生かすために、今後も内容や方法を工夫してたくさんの活動や体験をさせ、学習を進めていきたいと思っています。一つ一つの経験を積み重ね、さらに成長することを期待しています。

スクールコーディネーターより

スクールコーディネーター 新田 怜弥

最近、先生方の影響や地域協働学校の活動で土・草・花に接することが楽しくなりつつあります。虫はちょっと苦手ですが、少しずつ慣れ、ミミズがいると『あ、耕してくれてありがとうございます』という気持ちに。そもそも目に見えないだけで、1gの土の中に10億の微生物がいるそうですから。

小さな鉢植えを育てるだけでも、いろいろなことに気付かされます。朝顔のつるは伸びるとき、こっちのつるは自然とフェンスに絡まっていくのに、あっちのつるはいつまでもずんずんと真っ直ぐ伸びてしまいます。誰かさんみたいだなあと思いながら「ちょっとこっちに来てね。」と巻きつけました。買って来た鉢植えの花も植え替えるとどんどん大きくなって花を咲かせるものもあれば、土が変わるとしよんぼりしてしまうものも。また、はじめに勢いが良く伸びたほうよりも、後からゆっくり伸びてきたほうに花がいっぱい咲くことも。以前、『辛抱する木に花が咲く』という言葉を紹介してくださいました校長先生のことを思い出しました。桜が寒さに当たらないと綺麗に咲かないように、そろそろ植えるチューリップの球根も寒さが大切だそうです。我が家の庭に春一番に咲くハナニラは春の終わりには姿を消します。地上が他の草木に覆われている夏の間には地中の球根にエネルギーを蓄えます。そして秋の終わりに茶色い地面から若草色の細い葉がふさふさと現れ、のびのびと冬の日差しを浴びています。

子供たちのそれぞれの育ちに通じるものがある気がしています。

「音楽室から」

音楽専科 高橋 愛奈

音楽室には毎日、小さな1年生から見上げるような6年生まで、いろいろな学年の子供たちが来ます。どの学年も個性豊かで、同じ曲を歌っていても、それぞれのカラーが出ているように感じています。先月行われた学習発表会でも、とても素敵な歌声を聴かせてくれました。

音楽の学習では、子供たちの発達段階に応じて、歌・楽器・鑑賞・音楽づくりの4つの分野を、うまく取り入れ、様々な音楽に触れることで、豊かな心を育むよう努めています。しかし、低学年では思いっきり表現活動ができていた子も、高学年になると恥じらいもでてきて、なかなかうまく表現ができなくなってしまうことがあります。そんな子でも、自信をもって表現ができるような雰囲気をつくりながら、「音楽って楽しい!」と思えるような指導をして参りたいと思います。

また、授業以外の音楽活動として、戸三小吹奏楽団では3年生から6年生までの33名が活動しており、保護者の方のご協力のもと、保坂先生と共に指導にあたっております。来年の3月には節目となる10回目の定期演奏会を開催する予定です。月曜日と木曜日の放課後と土曜日の朝2時間の練習ですが、子供たちの上達のスピードには目を見張るものがあります。学年を超えた仲間と共に、音楽をつくり上げる楽しさを感じさせることができるよう頑張りますので、今後とも応援をよろしくお願いいたします。